【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公表番号】特表2008-516634(P2008-516634A)
【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)
【年通号数】公開・登録公報2008-020
【出願番号】特願2007-538026(P2007-538026)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7088　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/20　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ａ６１Ｋ　31/7088
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　37/04
Ａ６１Ｐ　11/06
Ａ６１Ｐ　37/08
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　31/14
Ａ６１Ｐ　31/20
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　31/00

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月15日(2008.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
オリゴヌクレオチドであって、以下：
５’　ＴＣ＿ＧＴＣ＿ＧＴＮ$_1$ＴＣ＿ＧＧＣＧＣＮ$_1$ＧＣＣＧ　３’（配列番号２７）
を含み、ここで該オリゴヌクレオチドは、少なくとも２つの安定化されたヌクレオチド間結合を含み、そして＿は、ホスホジエステルヌクレオチド間結合またはホスホジエステル様ヌクレオチド間結合を示し、そしてここでＮ$_1$は、０ヌクレオチド長～３ヌクレオチド長であり、Ｎは、任意のヌクレオチドを示す、オリゴヌクレオチド。
【請求項２】
Ｎ$_1$は、３ヌクレオチド長である、請求項１に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項３】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＿＿Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号２）を含み、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示す、請求項１に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項４】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号２）であり、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示し、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項３に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項５】
N_1は、０ヌクレオチド長である、請求項１に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項６】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号３）を含み、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示す、請求項１に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項７】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号３）であり、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示し、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項６に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項８】
オリゴヌクレオチドであって、以下：
　５’　ＴＣ＿ＧＴＣ＿ＧＡＣ＿ＧＡＴＣ＿ＧＧＣＧＣ＿ＧＣＧＣＣＧ　３’（配列番号４）
を含み、ここで該オリゴヌクレオチドは、少なくとも２つの安定化されたヌクレオチド間結合を含み、そして＿は、ホスホジエステルヌクレオチド間結合またはホスホジエステル様ヌクレオチド間結合を示す、オリゴヌクレオチド。
【請求項９】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ａ＊Ｃ＿Ｇ＊Ａ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号４）であり、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示す、請求項８に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項１０】
オリゴヌクレオチドであって、以下：
　５’　ＴＴＣ＿ＧＴＣ＿ＧＴＴＴＸ$_1$＿ＧＴＣ＿ＧＴＴ　３’（配列番号２５）、
を含み、ここで該オリゴヌクレオチドは、少なくとも２つの安定化されたヌクレオチド間結合を含み、そして＿は、ホスホジエステルヌクレオチド間結合またはホスホジエステル様ヌクレオチド間結合を示し、そしてここでX_1は、ピリミジンである、オリゴヌクレオチド。
【請求項１１】
X_1は、Ｔである、請求項１０に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項１２】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｔ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ　３’（配列番号５）を含み、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示す、請求項１１に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項１３】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｔ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ　３’（配列番号５）であり、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示し、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして

３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項１１に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項１４】
X_1は、Ｃである、請求項１０に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項１５】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ　３’（配列番号６）を含み、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示す、請求項１４に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項１６】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ　３’（配列番号６）であり、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示し、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項１４に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項１７】
ＴＣＧＴＣＧＴＴＣＧＧＣＧＣＧＣＣＧ（配列番号３）を含むオリゴヌクレオチド。
【請求項１８】
ＴＣＧＴＣＧＴＣＧＴＴＣＧＧＣＧＣＧＣＧＣＣＧ（配列番号２）を含むオリゴヌクレオチド。
【請求項１９】
ＴＣＧＴＣＧＡＣＧＡＴＣＧＧＣＧＣＧＣＧＣＣＧ（配列番号４）を含むオリゴヌクレオチド。
【請求項２０】
ＴＴＣＧＴＣＧＴＴＴＴＧＴＣＧＴＴ（配列番号５）を含むオリゴヌクレオチド。
【請求項２１】
ＴＴＴＣＧＴＣＧＴＴＴＣＧＴＣＧＴＴ（配列番号６）を含むオリゴヌクレオチド。
【請求項２２】
Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｃを含むオリゴヌクレオチドであって、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示し、そして＿は、ホスホジエステルヌクレオチド間結合またはホスホジエステル様ヌクレオチド間結合を示す、オリゴヌクレオチド。
【請求項２３】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ－Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ　３’（配列番号２１）であり、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項２２に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項２４】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ　３’（配列番号２２）であり、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項２２に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項２５】
前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ－Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ　３’（配列番号２３）であり、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項２２に記載のオリゴヌクレオチド。
【請求項２６】
Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ＿Ｇ＊Ｇを含むオリゴヌクレオチドであって、ここで＊は、安定化されたヌクレオチド間結合を示し、そして＿は、ホスホジエステルヌクレオチド間結合またはホスホジエステル様ヌクレオチド間結合を示す、オリゴヌクレオチド。
【請求項２７】

前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ－Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号１５）であり、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項２６に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項２８】

前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ－Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号１６）であり、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項２６に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項２９】

前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ－Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号１７）であり、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項２６に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項３０】

前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ－Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号１８）であり、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項２６に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項３１】

前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｇ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ－Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号１９）であり、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項２６に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項３２】

前記オリゴヌクレオチドは、５’　Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｔ＊Ｔ＊Ｃ－Ｇ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ－Ｇ＊Ｃ＊Ｇ＊Ｃ＊Ｃ＊Ｇ　３’（配列番号２０）であり、ここで５’は、該オリゴヌクレオチドの自由な５’末端を示し、そして３’は、該オリゴヌクレオチドの自由な３’末端を示す、請求項２６に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項３３】

請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドおよび薬学的に受容可能なキャリアを含有する、薬学的組成物。

【請求項３４】

請求項３３に記載の薬学的組成物であって、噴霧器をさらに含む、薬学的組成物。

【請求項３５】

請求項３３に記載の薬学的組成物であって、吸入器をさらに含む、薬学的組成物。

【請求項３６】

前記吸入器は、定量噴霧吸入器である、請求項３５に記載の薬学的組成物。

【請求項３７】

前記吸入器は、粉末吸入器である、請求項３５に記載の薬学的組成物。

【請求項３８】

請求項３３に記載の薬学的組成物であって、化学療法剤をさらに含有する、薬学的組成物。

【請求項３９】

請求項３３に記載の薬学的組成物であって、抗ウイルス剤をさらに含有する、薬学的組成物。

【請求項４０】

前記薬学的に受容可能なキャリアは、皮下投与のために処方されている、請求項３３に記載の薬学的組成物。

【請求項４１】

前記薬学的に受容可能なキャリアは、経口投与のために処方されている、請求項３３に記載の薬学的組成物。
【請求項４２】
前記薬学的に受容可能なキャリアは、鼻腔内投与のために処方されている、請求項３３に記載の薬学的組成物。
【請求項４３】
免疫応答を刺激するための、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドを含む、組成物。
【請求項４４】
免疫応答を刺激するための医薬の製造における、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの使用。
【請求項４５】
喘息を処置するための医薬の製造における、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの使用。
【請求項４６】
前記喘息は、ウイルス感染によって増悪される、請求項４５に記載の使用。
【請求項４７】
アレルギーの処置のための医薬の製造における、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの使用。
【請求項４８】
癌の処置のための医薬の製造における、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの使用。
【請求項４９】
前記医薬は、化学療法剤と一緒に使用される、請求項４８に記載の使用。
【請求項５０】
感染症の処置のための医薬の製造における、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの使用。
【請求項５１】
ウイルス性障害の処置のための医薬の製造における、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの使用。
【請求項５２】
前記ウイルス性障害は、肝炎である、請求項５１に記載の使用。
【請求項５３】
前記肝炎は、Ｂ型肝炎である、請求項５２に記載の使用。
【請求項５４】
前記肝炎は、Ｃ型肝炎である、請求項５２に記載の使用。
【請求項５５】
自己免疫疾患の処置のための医薬の製造における、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの使用。
【請求項５６】
気道リモデリングの処置のための医薬の製造における、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの使用。
【請求項５７】
前記医薬は、抗原と一緒に使用しないための医薬である、請求項４４に記載の使用。
【請求項５８】
前記医薬は、抗原と一緒に使用するための医薬である、請求項４４に記載の使用。
【請求項５９】
喘息を有するか、または喘息を有する危険にある被験体において喘息を処置するための組成物であって、喘息を処置するのに有効な量で、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項６０】
アレルギーを有するか、またはアレルギーを有する危険にある被験体においてアレルギーを処置するための方法であって、アレルギーを処置するのに有効な量で、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドを含む、組成物。
【請求項６１】
前記被験体は、アレルギー性鼻炎を有する、請求項６０に記載の組成物。
【請求項６２】
免疫応答を調節するための組成物であって、免疫応答を調節するのに有効な量で、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドを含む、組成物。
【請求項６３】
ウイルス感染によって増悪される喘息を有するか、または該喘息を有する危険にある被験体においてウイルス感染によって増悪される喘息を処置するための組成物であって、該喘息を処置するのに有効な量で、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドを含む、組成物。
【請求項６４】
前記組成物中の前記オリゴヌクレオチドは、被験体に送達されて、該被験体においてアレルギーを処置することを特徴とする、請求項６２に記載の組成物。
【請求項６５】
前記組成物中のオリゴヌクレオチドは、被験体に送達されて、該被験体において自己免疫疾患を処置することを特徴とする、請求項６２に記載の組成物。
【請求項６６】
前記組成物中のオリゴヌクレオチドは、被験体に送達されて、該被験体において気道リモデリングを処置することを特徴とする、請求項６２に記載の組成物。
【請求項６７】
前記組成物中のオリゴヌクレオチドは、被験体に抗原と一緒に投与されないことを特徴とする、請求項６２に記載の組成物。
【請求項６８】
前記組成物中のオリゴヌクレオチドが、口の経路、鼻の経路、舌下の経路、静脈内の経路、皮下の経路、粘膜の経路、呼吸器の経路、直接注入、および経皮的な経路からなる群より選択される経路によって送達されることを特徴とする、請求項６２に記載の組成物。
【請求項６９】
前記組成物中のオリゴヌクレオチドは、前記被験体に対して、サイトカインの発現を誘導するのに有効な量で送達されることを特徴とする、請求項６２に記載の組成物。
【請求項７０】
前記サイトカインは、ＩＬ－６、ＴＮＦα、ＩＦＮα、ＩＬ－１０、ＩＬ－１２、ＩＦＮγおよびＩＰ－１０からなる群より選択される、請求項６９に記載の組成物。
【請求項７１】
前記組成物中のオリゴヌクレオチドは、前記被験体に対して、免疫応答をＴｈ２に偏った応答からＴｈ１に偏った応答へ変化させるのに有効な量で送達されることを特徴とする、請求項６２に記載の組成物。
【請求項７２】
癌を有する被験体において癌を処置するための組成物であって、該癌を処置するのに有効な量で請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドを含む、組成物。
【請求項７３】
請求項７２に記載の組成物であって、該組成物は、前記被験体に対する化学療法とともに投与されることを特徴とする、組成物。
【請求項７４】
請求項７２に記載の組成物であって、該組成物は、前記被験体に対する照射とともに投与されることを特徴とする、組成物。
【請求項７５】

感染症を有するか、または感染症を有する危険にある被験体において感染症を処置するための組成物であって、該感染症を処置するのに有効な量で請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドを含む、組成物。
【請求項７６】
前記被験体は、ウイルス感染を有する、請求項７５に記載の組成物。
【請求項７７】
前記ウイルス感染は、Ｂ型肝炎である、請求項７６に記載の組成物。
【請求項７８】
前記ウイルス感染は、Ｃ型肝炎である、請求項７６に記載の組成物。
【請求項７９】
請求項７６に記載の組成物であって、前記組成物は、前記被験体に対する抗ウイルス剤とともに投与されることを特徴とする、組成物。
【請求項８０】
免疫応答を刺激するための、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの医薬を製造するための方法。
【請求項８１】
癌を処置するための、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの医薬を製造するための方法。
【請求項８２】
喘息を処置するための、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの医薬を製造するための方法。
【請求項８３】
アレルギーを処置するための、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの医薬を製造するための方法。
【請求項８４】
感染症を処置するための、請求項１～３２のいずれか１項に記載のオリゴヌクレオチドの医薬を製造するための方法。